

COZA(E-JI KOMATSU)

Illustration WORKS



Marble SHOT

まあぶる・しよつと

お買い上げありがとうございます。
こつえーこと胸都えーじです。
今回は何時もの「METAL-SHOT」と
違い、ごった煮状態でお送りします。
その名も「Marble-SHOT」!
他にも「やわらかしよと」「みくす
しよと」「Mid-SHOT」等いろんな
案もありましたが、とりあえずこれで
落ち着きました。デジモンかなんかは
そんな技gああった気もしたけど
キニシナイ
今回は2007年ハマった物を中心に
描いていきたいと思います。

早速一枚目、「らぎ☆すた」の柊姉妹ですが
実は仕事の没絵(苦笑)らぎ☆すたコミック
アラカルト用の絵だったのですが、こなたさん
が前面に居ないって事で没。というカロク
に確認もせず、手を先に動かした事による
失敗です(苦笑)急速、手伝ってもらったTさん
ごめん…。実は没ってたんだ…。



そんなワケで今年一番好きだったアニメらさ☆すた。
ヲタ主人公のアニメって大抵同属嫌悪的な物を抱いてしまう
くらいココロの狭いオイラですが(苦笑) なたさんに関しては
あの表情のおかげか毎週なごみっばなしてした。

一番萌えたのは、もはや語るべくも無くかみみなワケですが。
でもかみみを可愛く描くのってオイラには思ったより
難しい事にも気付かされた。どんだけー。



つかさファンの人、ゴメン。
この本はつかさの扱いは
あまりよろしくないです。

萌えキャラとして強いのはかがみんですが、結婚したいのは圧倒的にみゆきさん！不人気でもいーじゃないか！面倒見よさそうだし何でも許してくれそうだしふにふににしてそーだし(?)でもちゃんと自己主張もするので、男にとって都合の良いだけの女性というわけでもなさそーだし。

かがみんは萌えキャラとして好きだけど、みゆきさんはリアルに好きです。結婚してください。そしてあのちょっと困った感じの笑顔で「申し訳ありませんが…」とやわらかくフラれたいです。(どうやらオイラにはマゾっ気があるようだ…)



ヲタとして理想の娘のこなたさん。テレビで毎週見ただけで癒されました。二期やらないかなー。



HPの絵からスク水こなたん。
サクッと描いて出来あがるのが
らぎ☆すたの良いとこ。



この3人でまとめた絵も
そのうち描きたいなあ。



→らぎ☆すたコミックアラカルト用に
描いてたかがみん。OKは出てたん
だけど、なんか納得行かなかった
んで、勝手に没にしてみました。
編集さんゴメンナサイ。



HPの絵より、こなたらがん。
丁度、グレンラガンが面白かった
タイミングで勢い描いたラクガキ。
でも実際公開したタイミングは
3、4ヶ月先だったけど…。



いずれHPで公開しようしようと思っ
て、結局アップするタイミングを
失った、かがみのアップ絵。
いや、忘れた頃にアップするかも
しれないけど(苦笑)

↓コミックアラカルト用の没ラフ。
ゲームしてるだけの絵っていうのも
らき☆すたとしてはベタですなあ。



もう明日じゃない。
本当に大丈夫なの？

↓「コミック1」参加前日カウントダウン的に
HP上でアップした絵。一日ごとにキャラが増え、
コメントも変化しました。他のパターンもHP上に
上がっております。

一夜漬けで
入稿してみたい
ですよ



こなちゃん
みたいだね

くら〜



MIKU HATSUNE & RIN KAGAMINE

with hachune miku





はい、別に濡れずみっくみくにされてました。(挨拶)
 カガみんといい、今年はツインテール娘のアタリ年ですか？
 そんなワケで初音ミクさんです。近年稀に見る素晴らしいデザインです。
 コンセプト、キーカラーも明確で、初見だけで思わず描きたくってしまいます。
 このデのサイバーチックなサウンド系キャラ(?)は自分も良くオリジナル絵で
 描いてたので、描いてて何かデジャブ?な気分。

最大の萌えポイントは

長いネクタイ

ですよ、やっぱ。

ラフ構図から。これ描いた後、表紙を描いたのですが、
 ミクのポーズがガガガなる事になってしまったので、ミクのみ
 描き直し。ここから4、5時間程で一気に描き上げる…予定でした…
 この時点では手に持っているのはマイク。



手前の髪等も別線画で描き足し。基本色をのせませす。
 なまじ配色バランスの良いデザインだけに、この時点で
 既に満足してしまいます…。
 各キャラは後で別レイヤーにして配置調整するので、
 バラバラの場所に置いて塗ります。

影&ハイライト塗り。さっくり済ませつもりだったのですが
 結局仕事絵と変わらなくなってしまいました(苦笑)
 僕の場合、先にセル塗りの影を用意する場合と
 いきなり塗りこんでしまう場合があります。
 前者の場合、知り合いにレイヤー分け作業を手伝って貰う時
 に良く行います。あとセル塗り風に仕上げる時。
 今回は最初はそのつもりだったのですが結局いきなり
 塗りこんでしまいました。この時点で4、5時間の予定が
 既に9時間以上経ってました…やバイ…。



↑みたいな鍵盤パターンを作り、「自由変形」「シアア」「球面」等のツールを
 組み合わせ、オビのように画面内に張り巡らさせます。
 緑音リンさんとSDのはちゅねミクさんが、この鍵盤の上を
 渡って歩いてるように見せるために、何度も変形を手作業で
 繰り返します。(なかなか角度が上手くあわない…)

これに背景素材を色々変形させつつ、重ね、
 細部修正をして完成。
 結局12時間以上かかってしまいました…(汗)



04年に出した同人誌「M-PALACE」の表紙。
この本自体モノクロでしたが、実は元々カラーで描いてたので
折角だから今回のオールカラー本で出しちゃいました。
この本のタイトルも当初「M-PALACE 2」で行くつもり
でした。各ページのバックデザインが似てるのはその名残り。



にしても緑の髪だったりツインテールだったり
顔の向きといい、おとなりのページのミクさんと
なぶりまくりです…。

GUNDAM EXTRA

MOBILE SUITS GUNDAM OO MOBILE SUITS

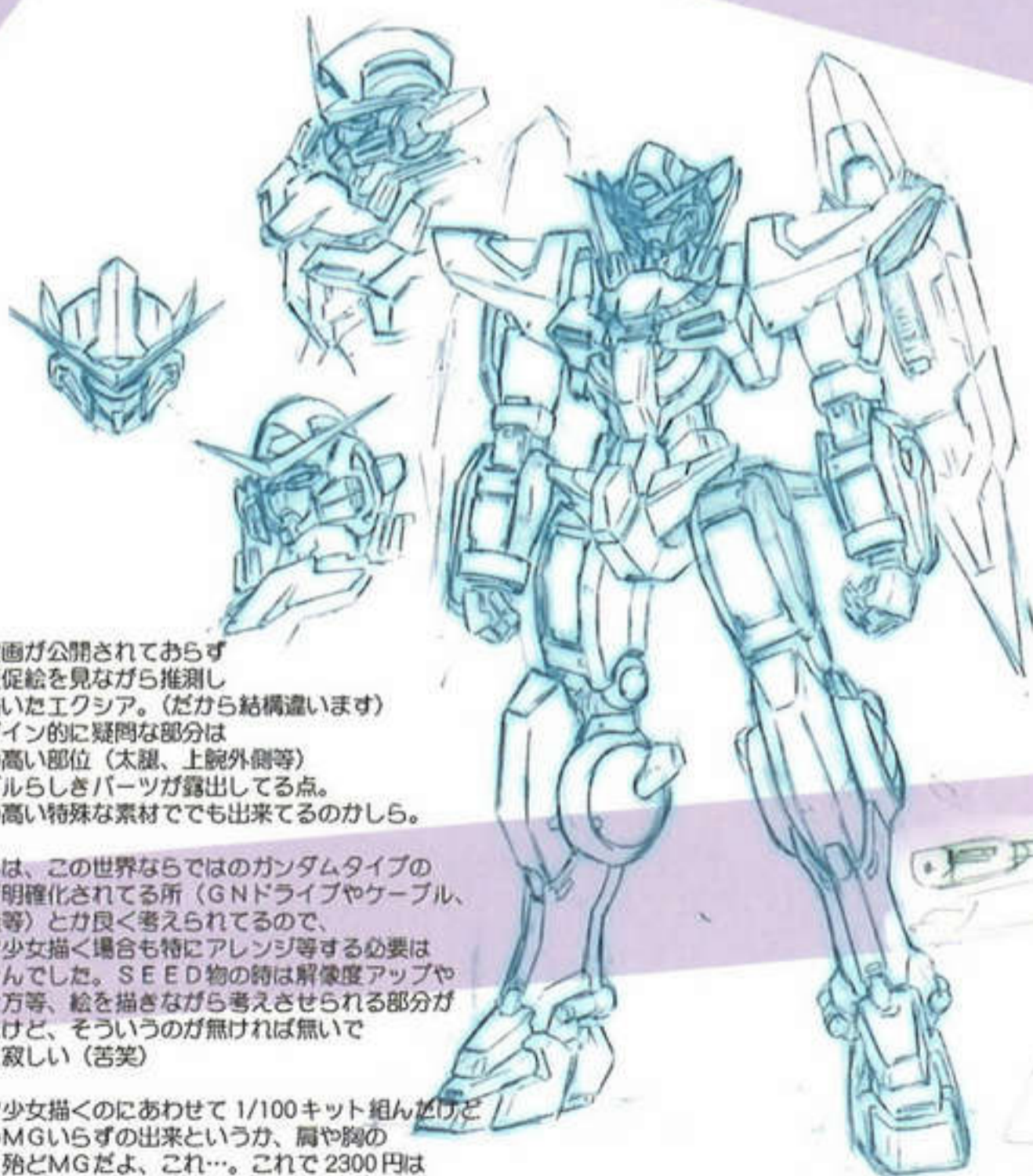


出逢「METAL-SHOT」な感じで今回テレカ用に描いたガンダムエクシア少女の
 特殊なし版。ガンダム00は良いですなー。多くの同人誌で中華おっぱいが
 描かれてるであろう中、ワタクシはエクシア少女です(苦笑)

今回はメカデザインがようやく今時のラインになってくれた事と、勢力毎にデザイナーを
 分ける体制にしてくれたのが嬉しい。ちゃんとデザイン画からその機体の発光系統が
 読み取れるようになってるのは、模型中心で楽しむ者にとっては重要なファクターだしね。
 (SEED デスティニーの時、デスティニーの足が105ダガーの足とそっくりだったのを見て、
 「何？連合系の技術が入ってるの？ストーリー的にも何か重要なキーにもなるの？」
 などと勝手に妄想してたけど、実際には何も関係無く只のネタ切れというか
 大河原先生の手癖という感じで勝手にガッカリしたものですが、て、前回は書いたっけ?)

まあガンダムという作品はロボットアニメ界においてオンリーワンではなく、常にナンバーワンを
 求められる作品だけあって作り手も大変だと思いますが、今回は設定面も含めてメカの描写に
 慎重になってくれるのは嬉しい事です。話が地味目になるのは仕方ないかな。
 今回は量産機の動作や演出が細かい。(上半身のみ回転させて格闘攻撃するティエレンとか)
 ガンダムタイプ以外の良いものもしっかりしてると安心します。

各ガンダムもそれぞれの性質を踏まえ、ミッションの特性にあわせたポジションで戦わせてるのが
 良いです。(単に強いから常勝というワケではないし。事実、マップ兵器的ユニットのヴァーチェは
 戦略想定外での集団戦で敗北してナドレをさらしてるし。)
 戦闘描写も所々、良い意味でのツッコミを入れたいところが多かったりするので、視聴後、
 知り合いと話すのが楽しいです。この先、話の方でも盛り上がりかけてくれると嬉しいなあ。
 (2007/12月現在)



まだ設定画が公開されておらず
 一部の販促絵を見ながら推測し
 ながら描いたエクシア。(だから結構違います)
 今回デザイン的に疑問な部分は
 被弾率の高い部位(太腿、上腕外側等)
 にケーブルらしきパーツが露出してる点。
 吸弾率の高い特殊な素材ででも出来てるのかしら。

それ以外は、この世界ならではのガンダムタイプ
 の特徴点が明確化されてる所(GNドライブやケーブル、
 関節構造等)とカバよく考えられてるので、
 エクシア少女描く場合も特にアレンジ等する必要は
 ありませんでした。SEED物の時は解像度アップや
 解釈の仕方等、絵を描きながら考えさせられる部分
 が多かったけど、そーいうのが無ければ無いで
 ちょっと寂しい(苦笑)

エクシア少女描くのにあわせて1/100キット組んだり
 本当もうMGいらすの出来というか、肩や胸の
 構造等、殆どMGだよ、これ…。これで2300円は
 恐れ入ります。

→アタリ段階のラフではありますが、デュナメス少女。
 今回の4体の中では一番好きです。GN粒子散布下故にレーザー等使えない事を
 前提に、目視によるマニュアルによる精密射撃を前提とした機体設計。
 ロックオン兄さんのキャラとあいまって最高です。
 キュリオスとヴァーチェは間に合わなかった…。





今度こそはと言いつつ
今回も出来なかった
エクゼリカポスター。
せめてラフだけでも
載せておきます…。

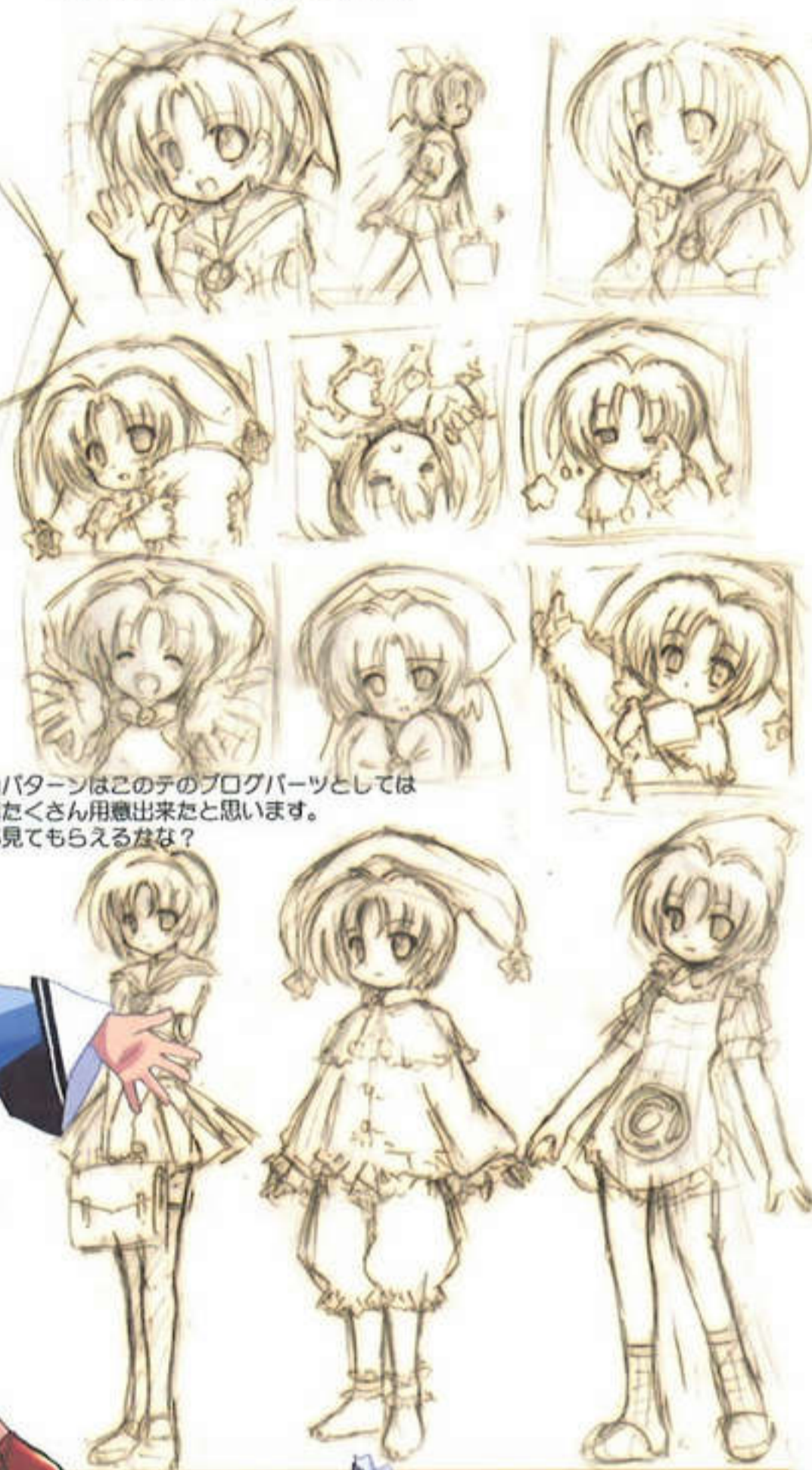
ワキ見せがポイントです。



←メガミマガジンクリエイターズに
描いたポスターの別ラフ案。
オリジナル装備で、インテークガ
「EXヨ」になるようにしてます（見えてないけど）。

こっちは何か
イマイチだった物。

最後に宣伝です。ニフティのブログペットのキャラとして
 ブログ妖精「ココロ」を描きました。ニフティ、ご乱心?!
 というかペットなのか?
 ブログ持ってる方は、是非ベタリとして頂ければと思います。
 今回はラフの一部のご紹介。



表情パターンはこのデのブログパーツとしては結構たくさん用意出来たと思います。全部見てもらえるかな?

青カラーでも考えてました。でも暖色系の方がやさしいイメージになるので現在のオレンジに。ミカンのよーな、ニンジンよーな。

ここまでお付き合い頂きまして誠にありがとうございました。
 何気に初のフルカラー本となりましたがいかがでしたでしょうか。
 結局ラフが多かったりで「METAL-SHOT」の時とそんなに変わらなかったかもですが(苦笑)只、ラフ類はこういう機会にしか載せられないのでそういった意味では今回の「Marble-SHOT」の存在意義は大きかったです。メカしぼりじゃないので、「METAL-SHOT」と平行していければと思います。

にしても今回はツインテール率が高いですなあ。まあ好きだからしゃーないです。直前までツインテール本にするつもりだったくらいですから。かがみん、みづみく、あとナツメグのゼリスさん!と2007年はツインテール・オブ・ザ・イヤーと言っても過言じゃない年でした。2008年もわくわく出来る事を期待しつつ、仕事の方にも熱入れて行きますのでまたよろしく宜しくお願い致します。感想等ありましたらHPのweb拍手等をお願いします。ものすごく励みになります。

奥付
 「Marble-SHOT」
 初版 2007/12
 印刷 緑陽社

〒228-0814
 神奈川県相模原市南台6-10-13
 古川方





URL : <http://www.alpha-net.ne.jp/users2/co2a/>
E-MAIL : co2a@alpha-net.ne.jp